



# 彩立上り ビーonz

1分石  
2分石  
(1分石2分石混合)

一液型無黄変ウレタン樹脂

1㎡セット

天然石樹脂仕上材

1セット8mm厚で

1㎡の施工が可能です。

## 標準施工要領書

正しい施工を行うために必ず施工要領書をお読みください!!

### 下地について

- 下地はコンクリート、またはモルタルです。(ブロック、洗い出し等の上には施工できません。)
- 下地は完全に乾燥させてください。(含水率 10%以下)  
新設コンクリート…14日以上  
モルタル下地………7日以上
- コンクリート・モルタルともに**金ゴテ押さえ同等**の精度としてください。(木ゴテ押さえ、刷毛引きの上には施工できません。)
- 油脂類は、シンナーなどで完全に拭き取ってください。
- ひび割れ・不陸のある場合は下地の補修を行ってください。
- ほこり・ゴミ・コケなどは十分に清掃してください。
- 夏期(一般用) 31℃以上の場合は施工を避けるか、早朝または夕方など、気温が下がってから施工してください。
- 「冬用」での5℃以下、15℃以上の施工は避けてください。



コンクリート・モルタル  
金ゴテ押さえ



コンクリート・モルタル  
木ゴテ押さえ



コンクリート・モルタル  
刷毛引き

### このセットに入っているもの(セット品のため材料は全てお使いください)



- 標準施工要領書(このパンフレット)
- 下塗り用バインダー
- 骨材混入用バインダー
- 骨材

彩立上りビーonzのセットには、一般用と冬用があります。

- 一般用は15~30℃(3~10月)
  - 冬用は6~14℃(11~2月)
- でご利用ください。

バインダーは、「下塗り用バインダー」と「骨材混入用バインダー」の2種類があります。ご注意ください。

### 施工前にご用意していただくもの



※別売

- にチェックを入れ、ご確認ください。
- 金ゴテ       練舟       コテ板
- ゴムベラ       クワ
- 刷毛       下げ缶

※彩専用洗剤(4ℓ)は別売です。

### ×ご注意

骨材とバインダー(樹脂)を混練する際は、ハンドミキサー(手持ち式電動攪拌器)を使用しないでください。攪拌不良によりバインダー(樹脂)の発泡及び骨材のふくれが発生します。



ヤブ原産業株式会社

YABUHARA Industry CO.,LTD.



## 1. 下塗り



①下塗り用バインダーを使用します。



②アルミパックの3方を切り開いて、コテ板、コテ等を用いて下塗り用バインダーを全量出します。



全量を塗った状態

③バインダーを金ゴテ、ゴムベラ等で下地に全量を均一に塗布します。10分程度経過後（全体的に白くなったり、ふくれを生じる場合もありますが問題ありません）に骨材塗りを行ってください。

### ◆施工上の注意

- 他の部材等にバインダーが付着すると、その箇所が変色や染みになって除去できなくなる場合がありますので、十分注意して施工してください。（テープで養生しても、テープから浸みこむ場合があります。）
- 20～30分以内に骨材塗りを行ってください。（気温、湿度によっても変わります）
- 塗り残しが無いようにしてください。骨材のダレの原因になります。
- 下塗り材を多く塗り過ぎると、骨材を塗り付けた時に表面に下塗り材が出てきて綺麗に仕上がりにせん。

## 2. 骨材とバインダーの混練



①骨材混入用バインダーを使用します。



②アルミパックの3方を切り開いて、コテ板、コテ等を用いて混入用バインダーを全量出します。



③練り舟に骨材1袋とバインダー1パックを全て入れます。



④混練は必ず手練りで、骨材を切るように骨材全体が濡れ色になるまで行います。

### ◆施工上の注意

- 混練が不十分の場合、強度不足やダレ、発泡の原因になります。
- セット以外の物は絶対に混入しないで下さい。
- ハンドミキサー（手持ち式電動攪拌器）の使用は避けてください。



### 3. 骨材塗り付け



①練り上げた骨材をコテ板に乗せます。



⑤次の列も同じようにして塗り付けます。



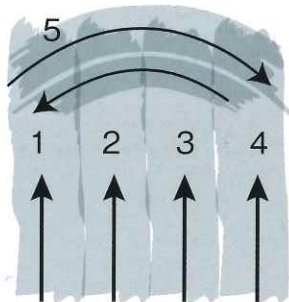
②コテ板を下地に押し付けます。



⑥ある程度の列(範囲)で塗り付けましたら、列同士がなじむように均します。



③力を入れてコテを下から真っ直ぐ上へ押し付けるように塗ります。



塗り方のイメージ図です。列で塗っていき、後で全体を押しさえるイメージです。



④8mm厚で塗ります。



モルタルを塗るように、はじめから扇状には塗れませんのでご注意ください!!

#### ◆施工上の注意

- 骨材の塗り付けは、下塗りのベタ付きがあるうちに行ってください。
- 混練後の可使時間は、一般用(30℃)約 50 分、冬用(15℃)約 40 分ですので、時間内に施工を終了してください。
- 骨材の塗り付けで、一度に塗り付ける範囲は20cm角程度にしてください。

### 4. 骨材の伏せ込み



①コテを彩専用洗剤で拭き、コテ切れをよくします。



②力を入れてコテ圧をかけ、しっかり押さえて骨材を密に仕上げます。  
「3. 骨材塗りつけ」で塗った範囲ごとに骨材の伏せ込みを行ないます。

### 5. 骨材塗りつけ完了



養生時間：夏期 12 時間以上。  
：冬期 36 時間。

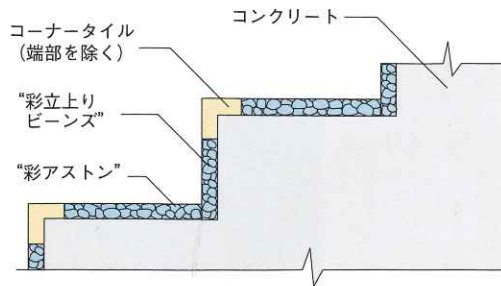
#### ◆施工上の注意

- コテ波を消し、骨材が立たないように押さえてください。



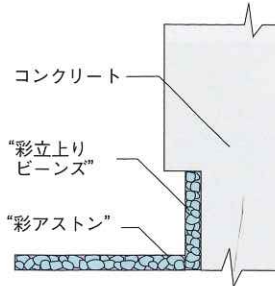
# 納まり

## ●階段（出隅）の仕上げ

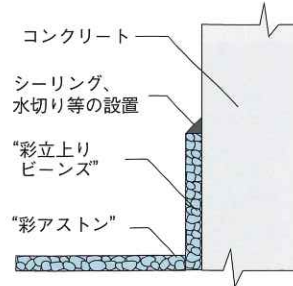


段鼻部の仕上げはコーナータイルか平タイルでの処理が理想です。

## ●巾木（入隅）の仕上げ



## ●出巾木の仕上げ



- ※排水設備は必ず設けてください。 ※区画目地は原則として、コンクリート目地に沿って設置します。
- ※床用は「彩アストン1㎡セット (8mm厚)」があります。

## 施工上の注意事項

- 他の部材等にバインダーが付着すると、その箇所が変色や染みになって除去できなくなる場合がありますので、十分注意して施工してください。（テープで養生しても、テープから浸みこむ場合があります）
- 雨の日の施工、未乾燥下地の施工は、正常に硬化しませんので避けてください。また、未硬化のうちに降雨の恐れがある場合の施工も避けてください。
- 骨材を絶対に濡らさないでください。もし骨材が水濡れした場合は、広げて十分に乾燥させてください。
- 強風などにより、硬化前にホコリやゴミが付着する恐れがある場合は施工を避けてください。

- 夏期の直射日光下に材料を長時間置きますと、材料温度が高くなり、可使時間が極端に短くなるため、保管場所にご注意ください。
- 冬期、気温 5℃以下または、夏期 31℃以上での施工は避けてください。
- バインダーが肌に付着しないようゴム手袋を使用し、万一肌に付着した場合は、石鹸ですぐに洗い流してください。
- 使用した用具は「彩専用洗浄剤」で良く洗ってください。
- 施工の高さは腰壁程度（約 1m）としてください。

### 【注意書き】

#### 【安全対策】

- 容器を密閉しておくこと。
- 適切な保護手袋、保護眼鏡、保護面、保護マスク、保護衣を着用すること。
- この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- 粉じん、蒸気、ミスト、スプレーを吸入しないこと。
- 換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
- 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- 取扱い後は良く手や顔、眼を洗い、うがいをすること。
- 環境への放出を避けること。
- 水・アルコール類・アルカリ性物質との反応するので、密閉容器中でこれらのものと混合しないこと。

#### 【応急措置】

- 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。呼吸に関する症状が出た場合、直ちに医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。
- 皮膚または髪に付着した場合、直ちに汚染された衣類をすべて脱ぎまたは取り除くこと。皮膚を流水またはシャワーで洗うこと。

- 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けること。
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
- 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合、口をすすぐこと、無理に吐かせないこと。気分が悪い時は医師に連絡すること。
- 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。
- 暴露またはその懸念がある場合、医師の診断/手当てを受けること。
- 漏出物は回収すること。

#### 【保管】

- 容器を密閉して、涼しく換気の良いところで施設して保管すること。
- 子供の手の届かないところに保管すること。

#### 【廃棄】

- 内容物や容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

※詳細な内容は、安全データシート(SDS)をお読みください。

- 骨材は天然石のため、ロットにより多少色調の違う場合がありますのでご注意ください。
- 骨材は天然石のため、錆が出る場合があります。
- 酸性の影響によっては、骨材が欠けたりする可能性があります。

※商品の仕様等は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。



## ヤブ原産業株式会社

本社 / 〒334-0054 埼玉県川口市安行北谷546  
☎ 048(297)4111 Fax 048(290)1198  
URL <http://www.yabuhara-ind.co.jp/>  
E-mail [hanbai@yabuhara-ind.co.jp](mailto:hanbai@yabuhara-ind.co.jp)